

WEB 版第 20 回 環境なんでも見本市 実施報告書



開催：令和3年2月1日(月)～14日(日)
主催：板橋区
企画・運営：見本市実行委員会

目 次

1. 実施概要	1
2. 実施結果	3
(1)各出展団体の紹介(出展団体の WEB ページ掲載概要)	4
(2)閲覧者アンケート集計結果	39
(3)出展者アンケート集計結果	42
(4)エコアクション9実施状況	45
3. 見本市実行委員会について	47
参 考 資 料	49

1. 実施概要

(1)日時

令和3年2月1日(月)10:00～14日(日)17:00

(2)場所

インターネット上

(3)主催

板橋区

(4)企画・運営

見本市実行委員会

(5)趣旨

地球の環境を維持・改善していくためには、私たち一人ひとりが身近なことから取り組み、環境にやさしいライフスタイルにすることが求められている。本イベントは、これまで区内最大級の環境イベントとして、板橋区内外で行われている様々な環境活動や環境にやさしい暮らし方などを紹介してきた。第20回を迎える今年度は初のWEB(インターネット)開催とし、WEB上で様々な環境活動を閲覧していただくことにより、私たち自らの暮らし方を見直し、私たち自ら何ができるのか考えるイベントとする。

テーマは「板橋区の環境活動を知る／SDGs(※p.3 参照)、わたしたちができること」とし、環境活動を行っている法人や市民団体、企業、学校、行政など様々な団体の活動をWEBページで紹介し、「見本市実行委員会」と板橋区が一体となって企画・運営をする。

(6)出展団体(35 団体)

▼法人・市民団体(18)

赤塚公園友の会/板橋切り絵愛好会/板橋区・生活クラブ運動グループ地域協議会/板橋区の蝶を調査する会/いたばし水と緑の会/一般社団法人ソーラーシステム振興協会/エコ窓普及促進会/NPO 法人いた・エコ・ネット/NPO 法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア/NPO 法人東京城北環境カウンセラー協議会/おもちゃの病院/けやきの公園・グループけやき/公益財団法人東京都環境公社/特定非営利活動法人 水未来人/ハートワーク・こすもす/身近な自然の観察・記録活動/緑のカーテンサポートクラブ/和紙ちぎり絵の会

▼小中学校(7)

板橋区立板橋第七小学校/板橋区立板橋第二小学校/板橋区立桜川小学校/板橋区立蓮根第二小学校/板橋区立緑小学校/板橋区立高島第一中学校/板橋区立西台中学校環境科学部

▼企業(5)

株式会社空調服/株式会社日本フードエコロジーセンター/株式会社増渕商店/株式会社マップ/東京ガス東京東支店

▼行政(5)

板橋区環境政策課 自然環境保全係/板橋区環境政策課 脱炭素社会推進係/板橋区みどりと公園課/板橋区立エコポリスセンター/東京二十三区清掃一部事務組合 板橋清掃工場

(7)内容

1)各出展団体紹介

①分野別紹介

環境活動に取り組む出展団体の活動や成果を、取り組んでいる 5 つの分野別に紹介した(重複分類あり)。

- ・自然:17 団体
- ・エネルギー:11 団体
- ・食:5 団体
- ・3R(リデュース・リユース・リサイクル):12 団体
- ・子ども環境大使:7 団体

②各出展団体の掲載内容

- ・概要(紹介文、紹介画像最大 5 枚、対応する SDGs アイコンと SDGs に対する考え方など)
- ・動画の掲載(16 団体)
- ・ホームページリンクの掲載(27 団体)
- ・クイズ出題(34 団体)

2)その他動画の掲載

①見本市実行委員会として 2 つの動画を作成、掲載

【概要】WEB 版第 20 回環境なんでも見本市

【実行委員会メッセージ】WEB 版第 20 回環境なんでも見本市

②区長挨拶動画

3)出展団体のオンライン交流会(希望制)

令和 3 年 2 月 14 日(日)14:00~16:00

応募 12 名、当日参加 16 名(実行委員 5 名、事務局 5 名含む)

- 参加者一覧
- | | | |
|-------|------------------------------------|-----|
| 1 | 板橋区・生活クラブ運動グループ地域協議会 | 1 名 |
| 2 | いたばし水と緑の会 | 1 名 |
| 3 | NPO 法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア | 1 名 |
| 4 | NPO 法人東京城北環境カウンセラー協議会 | 1 名 |
| 5 | けやきの公園・グループけやき | 1 名 |
| 6 | 和紙ちぎり絵の会 | 1 名 |
| 7 | 実行委員長 NPO 法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア | 1 名 |
| 8 | 実行委員 身近な自然の観察・記録活動 | 1 名 |
| 9 | 実行委員 エコ窓普及促進会 | 1 名 |
| 10 | 実行委員 NPO 法人 いた・エコ・ネット | 1 名 |
| 11 | 実行委員 おもちやの病院 | 1 名 |
| 12~16 | 事務局 板橋区立エコポリスセンター | 5 名 |

(8)閲覧各種回答数

- 1)Top ページ閲覧数:1,345 名(2 月 1 日 10:00~14 日 17:00)
- 2)閲覧者アンケート回答数:43
- 3)エコアクション 9 回答数:44

(9)広報展開

1)エコポリスセンター広報物

季刊誌エコポ、月刊エコポ、ポスター、エコポリスセンターホームページ、Facebook、ツイッター、Instagram

2)板橋区役所広報物

広報いたばし、ホームページ、広告付電子表示板、デジタルサイネージ
3) その他

J:com つながるニュース、環境らしんばん

※SDGs とは、「持続可能な開発目標」のことで 2030 年までに達成をめざす国際目標
(2015 年に国連総会で 193 カ国が合意)である。



2. 実施結果

(1) 各出展団体の紹介(出展団体の WEB ページ掲載概要)

次ページより、団体区分(法人・市民団体・小中学校・企業・行政)ごとに 50 音順で掲載。

【凡例】

団体区分	法人・市民団体・小中学校・企業・行政 ※いずれか一つを選択
団体名	〇〇
所在地 または活動拠点	〇〇
カテゴリ	自然・エネルギー・食・3R(リデュース・リユース・リサイクル)・子ども環境大使※出展内容により複数選択あり
出展タイトル	20 文字程度
出展内容の紹介	〇〇
掲載したホームページ	有無 ※実際のホームページ上では URL を掲載
掲載した動画	有無 ※実際のホームページ上では URL を掲載
SDGs 該当アイコン	〇〇
出展者の SDGs に対する 考え方	〇〇
掲載した画像	※実際のホームページ上で掲載した画像のうちの 1 枚

団体区分	法人・市民団体
団体名	赤塚公園友の会
活動拠点	都立赤塚公園
カテゴリ	自然
出展タイトル	生物多様性を残した赤塚の森を守ろう！
出展内容の紹介	都立赤塚公園の武蔵野台地崖線には、都内最大のニリンソウ自生地が広がっているのをはじめ、たくさんの植物や昆虫が生きています。この自然を守るために、ボランティア団体・個人はサービスセンターと協働して赤塚公園友の会をつくり、様々な活動を行っています。
掲載したホームページ	無
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	7・11・12・13・14・15
出展者の SDGs に対する考え方	「15.陸の豊かさを守ろう」に向けて、崖線のみどりを守ることによって「都市に住まう人々にうるおいのある暮らしを提供する」を実行しています。 しかし、公園利用の仕方やゴミ問題に示されるように、公園では自然を回復する、みどりを増やすというだけでは済まない問題も存在します。「SDGs」の 17 の課題それぞれが重なり合い、関連しているものだとすることを踏まえながら、公園の管理運営を行っていきます。
掲載した画像	都立赤塚公園友の会の仲間たち

都立赤塚公園友の会の仲間たち

2020 年 11 月現在

団体・個人活動名	活動開始年 活動頻度
「赤塚公園ニリンソウを守る会」 (仮称)	・2020 年 10 月 ・月 2 回程度、日曜日を中心とした活動
いたばし水と緑の会	・1997 年 ・月 2 回程度、土曜日を中心とした活動
みどりの手	・2007 年 ・毎月第四日曜日午前に定例会、その他
NPO法人いた・エコ・ネット	・2015 年 ・不定期、毎月数回の活動
徳丸北野神社田遊び保存会	・1960 年 ・不定期
赤塚公園植物モニタリング活動 ニリンソウ自生地の自主ガイド活動など	・2016 年 ・毎月第一、第二、第三月曜日 ・その他、センターのイベント開催時の運営サポート

＊毎月 1 回の友の会会議には板橋区みどりと公園課も参加していただき、行政・公的機関（都・東京都公園協会・板橋区）と市民との協働・協力関係を築きながら事業を進めています。

＊新しい活動団体・個人の参加も歓迎です。下記サービスセンターまでお問い合わせください。ボランティアのスタッフが詳しい説明を行い、いちばん適した活動を一緒に考えます。

赤塚公園サービスセンター
電話：03-3938-5715

団体区分	法人・市民団体
団体名	板橋切り絵愛好会
活動拠点	東京都板橋区
カテゴリ	3R(リデュース・リユース・リサイクル)
出展タイトル	切り絵で季節をカットしよう
出展内容の紹介	環境にやさしい和紙を使って季節や思い出をカットし、台紙に貼って作品を仕上げます。 多くの出会いが美しい日本をよりクリーンにそして平和で公正な街を目指したいです。
掲載したホームページ	無
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	7・12・16
出展者の SDGs に対する考え方	環境に優しく再生率も 60%以上の和紙を使用し、創る責任と使う責任で和紙をカットしています。 クリーンで平和で公正な社会の一員として創作活動を継続しています。
掲載した画像	ブルームーン



団体区分	法人・市民団体
団体名	板橋区・生活クラブ運動グループ地域協議会
活動拠点	東京都板橋区
カテゴリ	自然・エネルギー3R(リデュース・リユース・リサイクル)・食
出展タイトル	生活クラブのグリーンシステムの紹介
出展内容の紹介	私たちは、今ある資源や自然環境を大切にし、食べ物、エネルギー、福祉をできる限り自給・循環するサステイナブルな考え方を地域社会に広げ、実践する団体です。
掲載したホームページ	無
掲載した動画	板橋・生活クラブ運動グループ地域協議会紹介動画(環境編)
SDGs 該当アイコン	11・12・13・14・15
出展者の SDGs に対する考え方	生活クラブの理念と活動目標は、SDGs が掲げる開発目標に通じるものです。私たちは、すべての目標に取り組んでいます。希望の持てる持続可能な社会づくりに取り組んでいます。
掲載した画像	板橋区内でのクリーンアップ大作戦



団体区分	法人・市民団体
団体名	板橋区の蝶を調査する会
活動拠点	東京都板橋区
カテゴリ	自然
出展タイトル	板橋区で見られる蝶
出展内容の紹介	生態系の保護・回復・持続可能な利用の推進には、現在の生態系の状況を把握することが必要です。 「板橋区の蝶を調査する会」では、板橋区の蝶を主体にした観察・調査を15年間継続してきた結果をお知らせします。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	15
出展者の SDGs に対する考え方	SDGs15-5、自然生息地の劣化を抑制、生物多様性の損出を阻止、絶滅危惧種の保護、防止を図るには、現状の基礎データを把握することが必要です。
掲載した画像	見られる時期がかぎられる蝶たち



見られる時期がかぎられる蝶たち

- ツマキチョウは3月の終わりに出始め、5月の初めで姿を消します。アカシジミは、5月の中頃から6月の初めまで、ウラナミアカシジミとミズイロオナガシジミは5月の終わり頃から6月の中頃だけに見られます。
- リンク先（エコポリスセンター蝶のデジタル図鑑）
<https://butterfly.itbsecopo.jp/>

団体区分	法人・市民団体
団体名	いたばし水と緑の会
活動拠点	赤塚城址・赤塚ため池・板橋区立日暮台公園
カテゴリ	自然
出展タイトル	赤塚城址のバッタ広場(草原ビオトープ)
出展内容の紹介	きれいに掃除された公園には生き物はすめません。私たちは公園の一角に生き物がすめる草地「バッタ広場」と、生き物がすめる水辺「トンボ池」をつくり、20年あまり管理し観察してきました。身近な自然との関わりの中で、カマキリやクモが獲物をゲットする瞬間に出会い、生き物達のたくましさ、不思議さ、命のつながりを感じ、人間も自然界の一員であることを実感します。 板橋区の自然を守るために、一緒に活動しませんか。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	11・13・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	私たちは物質的には豊かになったが、世界中の資源を浪費し、ゴミとして(廃熱・排ガスも)排出し、自然界のバランスを壊してしまいました。このことを認識し、取り戻すための実践目標が SDGsと理解しています。いたばし水と緑の会は、自然を取り戻すためにささやかなビオトープをつくり、身近な自然を理解するフィールドとして管理しています。
掲載した画像	生き物でにぎわう春から秋

生き物でにぎわう春から秋



ハルジオンの花
「雑草」なんて言わないで。
とてもきれいです。

地味な花にも**蜜**があります。

自然を楽しみながら
程々に草を刈ります。



団体区分	法人・市民団体
団体名	一般社団法人ソーラーシステム振興協会
所在地	東京都千代田区
カテゴリ	エネルギー
出展タイトル	熱は熱で、もっと使おう太陽熱！
出展内容の紹介	環境にやさしく、再生可能エネルギーである太陽エネルギーで、お湯を沸かしたり暖房をしたりすることができる太陽熱利用システムについて紹介します。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	おしえてソーラン
SDGs 該当アイコン	7・12・13
出展者の SDGs に対する考え方	再生可能エネルギーである太陽熱エネルギーを利用する、環境にやさしい「太陽熱利用システム」を普及させることにより、地球温暖化の原因である CO2 排出量の削減に 貢献し地球の環境を守ることをめざします。
掲載した画像	タイトルおしえてソーラン

たいよう ようせい
 こんにちは、ぼくソーラン。太陽の妖精だよ。

きょう たいようねつりょう しょうかい
 今日は、太陽熱利用システムの紹介をするよ。

たいようねつりょう たいよう ねつ あつ
 太陽熱利用システムは、太陽のエネルギーから熱を集めて

ゆ つく だんぼう
 お湯を作ったり、暖房したりするものだよ。

ちきゅうおんだんか すす いま
 地球温暖化が進んでいる今、

にさんかたんそ だ
 CO₂（二酸化炭素）を出さない

たいよう ゆうこう つか
 太陽エネルギーを有効に使うことが

ちきゅう まも
 地球を守ることにつながるよ。

おしえてソーラン YouTube

おしえてソーラン 2019 4月-2020年

団体区分	法人・市民団体
団体名	エコ窓普及促進会
所在地	東京都豊島区
カテゴリ	エネルギー
出展タイトル	省エネ・健康のカギは『窓の断熱』
出展内容の紹介	「省エネ・健康のカギは“窓の断熱”」 お家の中で、熱が逃げやすいのは「窓」です。実は CO2 削減や健康維持・向上には、窓の断熱が重要です。「エコ窓」を使った「窓の断熱リフォーム」について、省エネや健康にもやさしい暮らしのヒントとなる内容をご紹介します。「人と地球の健康のためには、まずは窓の断熱対策から」。たくさんの生活者さまに知っていただきたいと思います。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	エコ窓知識「日本のおうちってあたたかいの？」
SDGs 該当アイコン	3・7・13・17
出展者の SDGs に対する考え方	エコ窓普及促進会は、環境省 地球温暖化防止対策地域協議会の登録団体です。私たちは“脱炭素社会・持続可能社会に向けた活動”として、省エネ効果の高いガラス・サッシを使った窓『エコ窓』の普及促進を図り、地球温暖化防止を推進する社会貢献活動に取り組んでいます。日常生活にありふれている窓ですが、実は CO2 削減や健康維持・向上には、窓の断熱が重要です。『人と地球の健康のためには、まずは窓の断熱対策から』ということを生活者の皆さんに知っていただくために、主に地方自治体の環境系イベントへ参画しています。
掲載した画像	エコ窓とは？

みんなにもっと知って欲しい！

エコ窓普及促進会の **エコ窓** とは ??

お部屋のあたたかさを逃がさない(断熱性)や、暑い日差しを入れない(遮熱性)というような性質をもった窓を「**エコ窓**」と呼んでいます。

高い断熱・遮熱性能があることで、窓からの熱の出入りを防ぎ、室内を快適に保つとともに、暖冷房効率を大幅にアップさせ、暖冷房によって発生する**CO2排出量も削減する地球にやさしい窓のこと**です。

これぞエコ!!

人にも環境にもやさしい窓



地域の環境イベントに出展

私たちの取組み「脱炭素社会・持続可能社会に向けた活動」

3

すべての人に健康と福祉を

7

エネルギーを気候変動に貢献させる

13

気候変動に具体的な対策を

17

パートナーシップで目標を達成しよう

窓からのエネルギーロス対策について、広く知らせると同時に、生活者の環境リテラシー向上を目的として活動しています。

生活者の皆さんに**エコ窓**を知っていただくため、1都3県の自治体を中心に環境系のイベントへ参画出展数約150回！自治体にも窓リフォーム補助金の制度設計のアプローチもしています！

©2020エコ窓普及促進会 CORPORATION all rights reserved

団体区分	法人・市民団体
団体名	NPO 法人 いた・エコ・ネット
活動拠点	東京都板橋区
カテゴリ	自然エネルギー3R(リデュース・リユース・リサイクル)
出展タイトル	設立6年目の環境NPO 多方面で頑張ってます！
出展内容の紹介	5つのプロジェクト(PT): ①いたばしオーガニックコットン栽培・普及活動PT、②福島被災地ボランティア活動PT、③自然エネルギー普及活動PT、④環境教育実践活動PT、⑤5R推進・普及活動PTを実践しています。
掲載したホームページ	無
掲載した動画	①自然農法とコットン栽培②福島広野町訪問交流③福島浜通り訪問の記録④自然エネルギー普及活動⑤環境学習活動
SDGs 該当アイコン	4・7・12・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	私たちは、「赤塚公園でのコットン栽培」を通して自然農法を学び伝え、「福島訪問」(ふくしまオーガニックコットン支援・浜通り復興の状況視察)や「小型太陽光発電パネル試作」により原発・自然エネルギー問題を考え伝え、「区民祭生ごみ回収」等により5Rを実践し、それらの学びを「学校出前授業」や「夏エコスクール等各種イベントでのワークショップ」による環境教育に反映させています。学びの場・教える場・交流の場を通じたパートナーシップを大切にしています。
掲載した画像	オーガニックコットン栽培普及活動



団体区分	法人・市民団体
団体名	NPO 法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア
所在地	東京都板橋区
カテゴリ	自然・エネルギー・3R(リデュース・リユース・リサイクル)・食
出展タイトル	「66て66て紙芝居・絵本・学生の研究発表」
出展内容の紹介	学校・保育園でお日様となかよし・風となかよし・水となかよしの自然再生エネルギーを感性から感じとる紙芝居を使った学習が人気。楽しい学習で板橋の循環型まちづくりへー地産地消の自然エネ・食・省エネの生活。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	①お日さまとなかよし②水となかよし③風となかよし④フワフワちゃんとコロコロちゃんのうた⑤たいようくんのみらいのまち⑥ちいさい妖精のはなし
SDGs 該当アイコン	2・7・11・12・13・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	SDGsの取り組みは、地球と人類を救う取り組みです。そのために、学ぶこと調べること、協働して行動する《人を育てる》ことです。私たちの団体は、今年度は特に7番を先頭に、11, 12, 13の循環型、温暖化防止、省エネのための人づくりに取り組んでいます。今後、すみ続けられる循環型板橋のまちづくりへつながる、ライフラインの学びを展開していきます。
掲載した画像	フワフワちゃんとコロコロちゃんの歌



団体区分	法人・市民団体
団体名	NPO 法人東京城北環境カウンセラー協議会
活動拠点	東京都板橋区・豊島区・北区
カテゴリ	自然
出展タイトル	環境保全に取り組む環境カウンセラーの活動
出展内容の紹介	環境カウンセラーとして取り組んでいる環境教育インストラクター養成講座と企業・団体の環境経営を支援するエコアクション 21 の取得支援活動の実際を写真で出展。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	3・4・6・7・8・9・12・13・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	我々環境カウンセラーは、環境保全に関する専門的な知識や豊富な経験をベースに、市民や事業者の環境保全活動について、相談を受けたり助言を行うとともに、自ら行動する環境省に登録されたエキスパートで、我々は、環境保全活動を通じて、SDGsに全面的に貢献します。
掲載した画像	環境出前講座主な出し物

環境出前講座主な出し物

どんぐり、松ボックリ、落ち葉、押し花工作、4コマ漫画講座、双六講座、または使い終わったペットボトルキャップ、トイレペーパーの芯、新聞紙、包装紙、など、あるもので創作習慣を身につけましょう。



包装紙、トイレペーパーの芯で
ペン立て工作



団体区分	法人・市民団体
団体名	おもちゃの病院
活動拠点	東京都板橋区
カテゴリ	3R(リデュース・リユース・リサイクル)
出展タイトル	地球のあらゆる再生可能資源は有効的に活用
出展内容の紹介	エコポリスセンターで開院し 10 年を迎え、私たちは様々な地域に係わるあらゆる人たちと会話の中からお互いが修理内容を理解しあえる改善策を見出し再生可能に辿り着く技術力があります。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	ものの大切さを知る10年
SDGs 該当アイコン	7・11・12・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	世界のあらゆる人たちと差別なく会話の意識を持ち続け一人一人と向き合い話の中から地球の資源を有効活用し、なんらかの改善努力を加え、もとに戻すことはできないが再生に近い状態にして持続可能な社会を目指し続ける。
掲載した画像	問診・修理状況



団体区分	法人・市民団体
団体名	けやきの公園・グループけやき
活動拠点	東京都板橋区
カテゴリ	自然
出展タイトル	板橋区で初めて産・学・官・民による公園づくり
出展内容の紹介	公園づくりは町づくり、どのような人達(老若男女・障害者)にも差別なく自由に安全で・自然環境下で癒し空間を提供しています。また、地域交流によるイベント6回/年を開催し、コミュニケーションの場としても提供しています。樹木の落ち葉を腐葉土に作る設備もあり、ベンチかまど・簡易トイレなどの防災設備を設置され、公園内のトイレはバリアフリーになっています。いつも清潔に維持しています。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	地域公園20年のあゆみ
SDGs 該当アイコン	3・5・6・11・12・15・16・17
出展者の SDGs に対する考え方	公園づくりは町づくりを基盤に地域住民の手で管理運営され、あらゆる人たちの交流の場として次世代に引き継がれる持続可能な社会に対応した公園づくりです。
掲載した画像	けやきの公園



区民・地域で未来へつなぐ公園づくり

《けやきの公園ではボランティアを募集しています。》

■活動日時 毎週日曜日 朝9時より（雨天の場合は中止です。）

* 10月～4月 朝9：00～11：00位まで

* 5月～9月 朝8：00～10：00位まで

■活動内容 ①公園内の清掃

②草花の手入れと樹木の選定

③垣根の修理など

④年間6回ほどイベントを開催しています。

■お問合せ：日曜日に直接公園にお越しください。

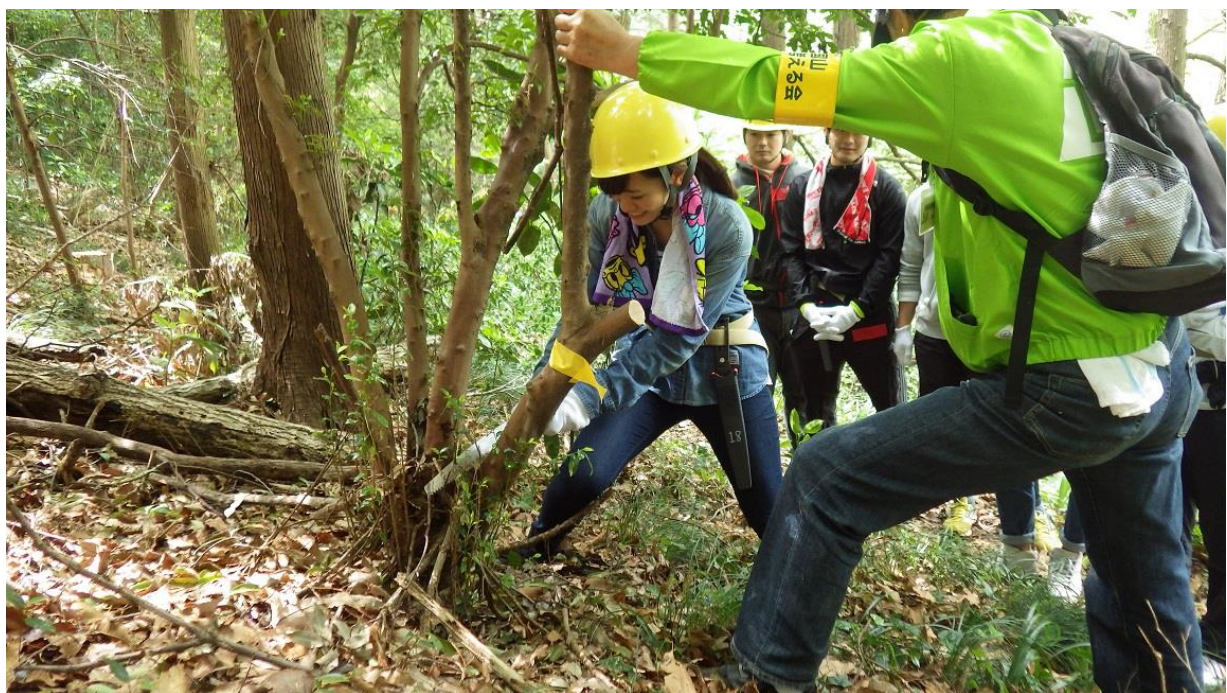
けやきの公園住所：板橋区前野町1-48

◆けやきの公園・グループけやき◆

◎けやきの公園
公式ホームページの
QRコードです
スマホのアプリで読み取って！



団体区分	法人・市民団体
団体名	公益財団法人東京都環境公社
所在地	東京都墨田区
カテゴリ	自然
出展タイトル	東京の自然にタッチ 里山へ GO!
出展内容の紹介	東京に残された里山で、森の手入れや田んぼの作業を体験する無料イベント「里山へ GO!」の紹介ブースです！会員登録でオリジナル里山ノートをプレゼント！
掲載したホームページ	有
掲載した動画	里山へ GO！
SDGs 該当アイコン	15
出展者の SDGs に対する考え方	環境問題は人類のあらゆる社会経済活動から生じ得るものであり、SDGs は密接に関係する経済・社会・環境の諸課題を統合的に解決することの重要性を示しています。環境公社は、環境事業に取り組む公益団体として、都民・事業者が行う SDGs につながる環境への取組の支援・促進や、多様な主体との連携・協働において中核的な役割を果たすなど、事業活動を通じて SDGs の達成に貢献してまいります。
掲載した画像	間伐や竹伐採などの里山保全活動が体験できます！適度に伐採することで元気な森を維持することができます。



団体区分	法人・市民団体
団体名	特定非営利活動法人 水未来人
所在地	東京都板橋区
カテゴリ	自然3R(リデュース・リユース・リサイクル)
出展タイトル	街からみんなで聴こう「海の声」
出展内容の紹介	今、プラスチックゴミの海洋汚染で海は泣いています。海のゴミの多くは街から出たものです。私たちの街「いたばし」も水の流れて海につながっています。日常生活から継続的に自然を守る活動を考えて実施していきましょう。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	届け！海の声。NPO 法人水未来人(みずみくにん)
SDGs 該当アイコン	12・14・15
出展者の SDGs に対する考え方	「海辺の自然を守る」ということを考えた時に、今、そこにある海辺のゴミを拾うだけでは継続的に自然を守ることにはつながらない。 日常生活における大気汚染、水質汚染、プラスチックゴミ問題など、経済的活動の視点から環境保全を考える必要があるであろう。 ひとりの力では解決できない課題も、多くの人々、様々な分野の人たちで協力して取り組めば、よりよい未来をつくることが出来るかもしれない。 世界中の人々が協力して取り組む17の目標達成をめざす SDGs の考えは、まさに私たちの活動の原点にある目標と同じともいえる。
掲載した画像	海辺にやってきたプラスチックゴミ
	

団体区分	法人・市民団体
団体名	ハートワーク・こすもす
所在地	東京都板橋区
カテゴリ	3R(リデュース・リユース・リサイクル)・食
出展タイトル	板橋区障がい者就労支援実習店「こすもす」
出展内容の紹介	店内の装飾はすべて手作りです。ダンボール紙で作った家、輪投げ、花瓶の花やカーテン等可愛いので是非見にいらしてください。障がいをお持ちの方が描かれた絵も展示しています。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	2・3・8・12・17
出展者の SDGs に対する考え方	SDGs3 について 提供している食材と量により、1日に必要な栄養素の一部(特に生野菜)をまかなえる様にしているため、健康づくり協力店の区長表彰を受けております。 SDGs8 について 障がいをお持ちの方が当店で実習を終え、就労支援する事により本人とご家族に気持ちの余裕が生まれ、仕事を長く続けられる様にその後もサポートしていきます。
掲載した画像	店内の様子



団体区分	法人・市民団体
団体名	身近な自然の観察・記録活動
活動拠点	都立赤塚公園&石神井川緑道加賀エリア
カテゴリ	自然
出展タイトル	暮らしの中のみどりを見つめよう！
出展内容の紹介	都立赤塚公園および石神井川緑道で定期的に行っている開花植物の観察・記録活動を紹介します。地球温暖化などの環境問題は暮らしの中のみどりを調べることによって、より身近なものとして捉えることが出来ます。
掲載したホームページ	無
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	7・11・13・14・15・16・17
出展者の SDGs に対する考え方	この活動に直接関わる課題は 15 の「陸の豊かさを守ろう」です。ただし、このテーマを深めることだけを追求していても実りはないと考えています。課題への取り組みを通して他の課題、特に社会の在り方や経済の仕組みを変えていく課題にも関心を持ち、積極的な関わりをしていくことが大事なことだと思います。
掲載した画像	赤塚公園での観察・記録活動

赤塚公園での観察・記録活動

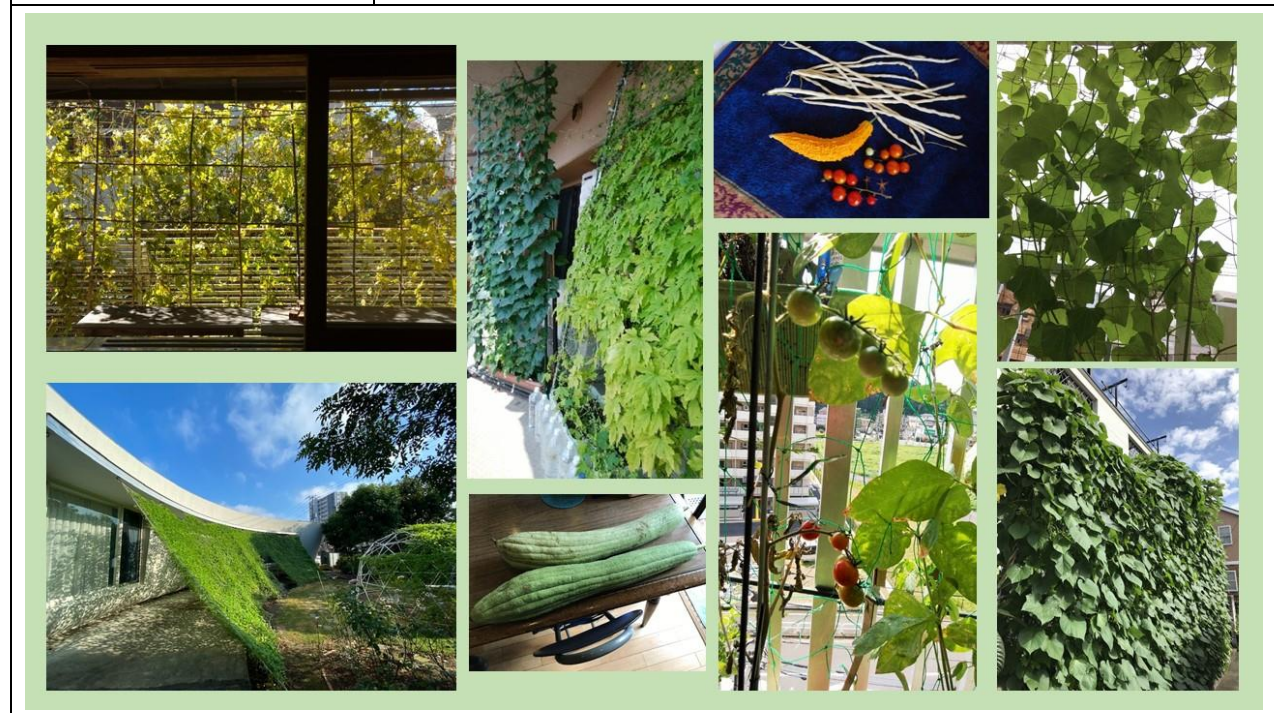


- ・緑陰の中を気持ちよく歩く観察活動です。
- ・第一、第二、第三月曜日の午前中に行っています。

生物多様性を害する植物の除去など、簡単な手入れも行いながら。



団体区分	法人・市民団体
団体名	緑のカーテンサポートクラブ
活動拠点	東京都板橋区
カテゴリ	自然・エネルギー
出展タイトル	始めよう！広げよう！緑のカーテン
出展内容の紹介	つる性の植物を窓の外に這わせる「緑のカーテン」の育て方のコツや、環境にやさしい生活の楽しみ方などについて紹介します。最近では SNS での発信にも力を入れ、緑のカーテンの魅力を区内外に広めています。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	①マーくんとひらりん②ゴーヤ三きょうだいとひらりん③ひらりとエンピツくん
SDGs 該当アイコン	4・13・15
出展者の SDGs に対する考え方	深刻な環境問題を改善するためには、まずは身近な環境に興味を持ち、行動することが重要です。例えば庭やベランダで植物を育てること。一家で取り組むだけでは、その家周りの緑が増えるだけですが、これを何十、何百の世帯が実施すれば、地域や街全体の景観が変わります。一人ひとりができることには当然限界があり、効果もわずかなものですが、一人ひとりが取り組まなければ決して変わらない。意味の無いことだと決めつけず、地道に取り組むことが、すべての SDGs のゴールにつながる大切な姿勢だと思います。
掲載した画像	会員の自宅で育成した緑のカーテン



団体区分	法人・市民団体
団体名	和紙ちぎり絵の会
活動拠点	東京都板橋区
カテゴリ	3R(リデュース・リユース・リサイクル)
出展 タイトル	日本古来手染和紙で風合いを楽しむ独自の作品
出展内容の紹介	今回の作品は今迄の作品の残紙で作成しました、当たり前のように捨ててしまう程の小さい残紙での作品や他にも個々に張る所により大小の和紙や多様な色彩を楽しみながら「もったいない」をモットーに考えた作品です。 ハーブの香りで使われている器等は大切に何年も使い古された物です、その感じを残紙で表わす事が出来たら、と思いました。
掲載したホームページ	無
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	1・4・10・12・16
出展者の SDGs に対する 考え方	山を崩し、海や川を埋め立て、ビルやダムを造り大きな犠牲者の下に私たちの今の生活があるのです。便利になりすぎ使い捨てる生活、何でも買える世の中、お腹一杯で食べ残して捨てる。知らない間に普通にやっている事です。和紙も作品重視でちぎった残紙は捨てる方が多く今でこそ生活の無駄を考える事が大事だと思える日本人の技術も同じで丁寧さ器用さより安価な海外へ依頼する、その結果大事な技術も活かす事なく見捨てられていった、今の時代物を作る大切さ有難さをもう一度見直したい。
掲載した画像	ハーブの香り



団体区分	小中学校
団体名	板橋区立板橋第七小学校
所在地	東京都板橋区
カテゴリ	子ども環境大使
出展 タイトル	みどりから学ぶ環境学習
出展内容の紹介	板橋第七小学校は、「みどりのカーテンを中心とした環境教育」が認められ、2017年に「ユネスコスクール」として認定を受けました。板橋区環境大使として、みどりや自然を大切にする教育活動を展開しています。今年は、「ブルーガーデンをつくろう」の活動も広がりました。寺子屋・環境委員会・そして、児童一人一人が花苗を植え、医療従事者の皆様への感謝の気持ちを表しました。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	4・10・13・15・17
出展者の SDGs に対する 考え方	板橋第七小学校では、すべての教育活動は、SDGs4「質の高い教育をみんなに」を中心に、他のSDGsの16の目標に結びつくと考えています。板七小ホームページでは、「板七っ子ニュース」として、日々の教育活動を、SDGsの目標との関連性も含めて発信しています。
掲載した画像	みどりから学ぶ環境学習

板橋第七小学校 「みどりから学ぶ環境学習」



板七小は、2018年7月に、
「ユネスコスクール」として
認定されています。



団体区分	小中学校
団体名	板橋区立板橋第二小学校
所在地	東京都板橋区
カテゴリ	子ども環境大使
出展 タイトル	板橋第二小学校 環境教育実践報告
出展内容の紹介	本校は、「子ども環境大使」の任命をいただき、環境学習に力を入れてきました。板橋第二小学校は、都市部に位置しながらも、豊かな自然に囲まれています。自然との関わりの中から生まれた学習の成果を発表しました。1～6年の生活科・総合学習だけでなく、音楽・図工・算数専科・保健の立場からも実施した環境学習の成果を載せました。学校的全職員で SDGs に取り組んでいます。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・13・14・15・16・17
出展者の SDGs に対する 考え方	最近、目にする機会がとて多くなった SDGs。これからの未来の地球を担う子供たちは、日々発展していく世界に夢や希望を抱いています。その反面、地球温暖化の影響による異常気象を実感することで、不安を感じる児童も少なくありません。今、世界ではどのようなことが問題となっているのかを知り、その問題の解決に向かって‘自分(たち)’は何ができるのかを考え、身近なことから取り組もうとする児童の育成を目指します。
掲載した画像	令和2年度 板橋第二小 環境教育への取り組み



団体区分	小中学校
団体名	板橋区立桜川小学校
所在地	東京都板橋区
カテゴリ	子ども環境大使
出展タイトル	板橋区立桜川小学校の取組
出展内容の紹介	桜川小学校では、令和2年度に桜川おやじの会の皆さんや地域の方々のご協力の下、自然観察園の改修工事に取り組みました。たくさんのお父さん方や地域の方々と力を合わせ、隣接する都立城北中央公園から分けていただいた伐採材を使って、次第にワクワクするような自然観察園へと姿が変わってきました。子どもたちが、いつでも自由に、そして安全に観察・体験できる環境づくりをめざしました。
掲載したホームページ	無
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	4
出展者の SDGs に対する考え方	SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」の実現に向け、『体験・実感・思考』に力を入れ、取り組んでいます。生活科・理科の学習や環境教育テキストの「未来へ」を活用し、低学年では、自然の事物や現象に親しみ触れ合う機会を多く体験させ、自然に対する気付きを高め、中学年では、自然に触れ、自然の事物・現象から感受する活動をさせ、守るべき自然について考えさせています。高学年では、培った知識を活用し、環境問題の解決策を考えるなど、今の自分たちにできることを考え、行動できる児童の育成を進めています。
掲載した画像	【自然観察園】改修工事開始時の校庭側からの様子
	

団体区分	小中学校
団体名	板橋区立蓮根第二小学校
所在地	東京都板橋区
カテゴリ	子ども環境大使
出展タイトル	～ビオトープや芝生など 自然がいっぱい蓮二小～
出展内容の紹介	蓮根第二小学校は、芝生やビオトープ、緑のカーテンなどに囲まれており自然が豊かです。1～6年生が授業で環境のことを学んだり、ごみ拾い活動などを通して地域と連携を図ったりしています。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	12・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	蓮根第二小学校では、SDGs の目標達成のために板橋区保幼小中環境教育カリキュラムに基づいた授業を行っています。 1年生 たねをまこう 2年生 生き物いっぱいビオトープ 3年生 めざせ！生きものはかせ！ 4年生 快適 You&I エコポリス蓮二っ子 5年生 わたしたちにできる環境への取組 6年生 蓮 ハス はすの大研究 また、委員会活動では、環境ビオトープ芝委員会を中心としてビオトープの管理をしています。ビオトープを維持していくために、話し合ったり環境新聞を作成したりしています。
掲載した画像	委員会活動の様子



団体区分	小中学校
団体名	板橋区立緑小学校
所在地	東京都板橋区
カテゴリ	子ども環境大使
出展タイトル	地域と結びついた緑小学校の環境教育
出展内容の紹介	緑小学校はその名前の通り豊かな自然に囲まれています。その自然を生かして、地域のサンシティグリーンボランティアの方々の全面的な協力のもと、年間通して様々な自然体験活動を行っています。竹や木の枝、脱穀後の稲藁などを加工して生活で使える道具を作っています。また校内でもしいたけを栽培するなど、地域の自然資源を持続可能的に活用した学習を推進しています。創立 40 周年記念のマスコットキャラクターは校内で採れるしいたけをモチーフにしています。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	15
出展者の SDGs に対する考え方	教育活動における環境教育は、ただ SDGs について学習するのではなく、「今まで行っていた学習や活動が実は持続可能性につながるものであった」ということに気付くことが一番の学びになると考えています。小学校から SDGs に親しんでいくことで、将来の子供たちが様々な分野で持続可能性を意識しながら様々な分野で活躍できると期待しています。
掲載した画像	緑小学校の竹林としいたけっち



団体区分	小中学校
団体名	板橋区立高島第一中学校
所在地	東京都板橋区
カテゴリ	子ども環境大使
出展タイトル	環境教育・SDGs教育の推進
出展内容の紹介	ペットボトルのキャップやコンタクトレンズの空き容器の回収をはじめとして、ポスター作りや電力について考える授業、食育など、様々な場面で環境について考える取り組みをおこないました。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	2・3・7・11・12・13・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	地球上にすむ生物は地球の豊かな自然の恩恵を受けながら暮らしている。更に人間は貴重な資源を使い、科学技術を利用し、便利な暮らしをしている。しかし、人間が科学技術の利用をした結果、環境へ悪い影響を及ぼしている。だからこそ、科学技術を利用し、全ての人間が安全で豊かで健康的な生活ができる環境をつくること、地球上の自然や生物を守ること、地球上の全ての生物がずっと生きていける持続可能な環境作りが必須である。地球のため、未来のために、日頃から私たちにできることを考え、実行していくことが大切だと考えている。
掲載した画像	環境教育・SDGs教育の推進

環境教育・持続可能な開発目標 SDGs 教育の推進

板橋区立高島第一中学校



～ はじめに ～

本校は、ユネスコスクールへの加盟を申請中です。同スクールは、持続可能な開発目標 SDGs 実現のために、環境や防災について外部機関との連携を巡りながら、先進的な教育を行うことになっています。そこで、これまでの環境教育を土台として、ユネスコスクールガイドラインを踏まえた教育活動を実践し、生徒の環境への意識向上や SDGs の理解の推進を図っています。

今年度は新型コロナウイルスの影響で6月までは休校、毎年おこなっていた行事の中止、人との接触を極力減らすという観点から例年おこなっていた照明のスイッチをこまめに消し、節電をするという取組もできない状態になっています。この状況でも、今年度、本校が実践してきた活動をまとめましたので、ご紹介します。



団体区分	小中学校
団体名	板橋区立西台中学校環境科学部
所在地	東京都板橋区
カテゴリ	子ども環境大使
出展タイトル	板橋区立西台中学校環境科学部活動報告
出展内容の紹介	コロナ禍でできる活動を行っています。主に植物に対する取り組みなど、環境に関わる内容などを行っています。
掲載したホームページ	無
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	11・12・13・15
出展者の SDGs に対する考え方	SDGs17 個の視点を目標として、少しずつ心がけが変わっていくと良いと思っています。まずは一人一人の意識が変わっていくとよいと思います。
掲載した画像	画像無

団体区分	企業
団体名	株式会社空調服
所在地	東京都板橋区
カテゴリ	エネルギー
出展タイトル	空調服を着て、エコ!!
出展内容の紹介	弊社では、空調服™及び関連商品の企画・販売を行っております。空調服™とは服に付いたファンで服の中に外気を取り入れ、生理クーラー®を補助し、体の表面に大量の風を流すことにより、汗を気化し最適な状態に体表を冷やす事で常に涼しく快適にすごすことができる服です。空調服™やその他製品により暑さ対策にかかるエネルギーを大幅に削減し、地球環境改善に大きく寄与するなど SDGs と関連する取り組みを行っており、今回は多数の製品のご紹介を行いました。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	①【中澤佑二 I'm feeling】②【この空と空調服™】③【空調服™2020 導入事例集】④【DAYS,AIRGEAR Another movie】⑤【デイリーに高機能を着る。日常を快適にする空調服™DAYS】⑥【過酷な夏の現場を支えるプロユースの空調服™】⑦【夏のアウトドアウェアの常識が変わる”AIR GEAR エアギア”、誕生】⑧【2020 ファン・バッテリー紹介】⑨【空調ベッド®風眠 KBT-S02】
SDGs 該当アイコン	7・13
出展者の SDGs に対する考え方	弊社では、空調服™及び関連商品の企画・販売を行っております。空調服™とは服に付いたファンで服の中に外気を取り入れ、生理クーラー®を補助し、体の表面に大量の風を流すことにより、汗を気化し最適な状態に体表を冷やす事で常に涼しく快適にすごせます。使用するエネルギーもエアコンなどに比べて格段に少なく、環境にも配慮した製品です。空調服™やその他製品により暑さ対策にかかるエネルギーを大幅に削減し地球環境改善に大きく寄与し、「生理クーラー®社会」の実現を目指すことを理念に、SDGs と関連する取り組みを行っています。
掲載した画像	大きな腰ポケットがアクセントのアウトドアベスト
	

団体区分	企業
団体名	株式会社日本フードエコロジーセンター
所在地	神奈川県相模原市
カテゴリ	3R(リデュース・リユース・リサイクル)食
出展タイトル	食品ロスに新たな価値を～余剰食品の液状飼料化
出展内容の紹介	当社では余剰等で廃棄されてしまう食品を養豚用の液状飼料へリサイクルしています。第2回「ジャパン SDGs アワード」で最優秀賞を受賞する等、廃棄食品の有効利用として高く評価されている取り組みをご紹介します。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	2・3・7・8・12・13・17
出展者の SDGs に対する考え方	当社の事業は余剰食品を飼料の原料として活用し、食品廃棄の削減と温室効果ガスの発生抑制、良質な飼料の提供を同時に実現しています。作業の一部を就労支援施設に委託することで障がい者の就労にも繋がりました。これらはいずれも SDGs 達成に貢献するものと考えていますが、SDGs のためにこの事業を始めたのではなく、社会課題を解決するために行っている事業が SDGs の観点から評価された形です。逆に言えば、企業が目指す目的や社会課題の解決のために必要な取り組みを考える際の指針となるのが SDGs なのではないでしょうか。
掲載した画像	工場での作業の様子です。きれいな野菜や果物が見えています



団体区分	企業
団体名	株式会社増淵商店
所在地	東京都板橋区
カテゴリ	3R(リデュース・リユース・リサイクル)
出展タイトル	分別をしてリサイクルをしよう
出展内容の紹介	板橋区を拠点とし、事業系廃棄物収集運搬を行っている会社です。様々なリサイクル品を紹介致します。主に発泡スチロールや古紙類のリサイクルをピックアップしてご紹介致します。大切な資源はリサイクルしましょう。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	廃棄物収集の仕事 応援ソング『僕らの街』
SDGs 該当アイコン	11・12
出展者の SDGs に対する考え方	弊社の業務では、事業所(会社やスーパー、居酒屋、病院など)から出される廃棄物を収集し適正処理を行っています。 ゴミの無い街づくりに少しでも貢献できればと、ただゴミを回収するだけでなく廃棄物を出す場所をキレイな状態に保つ事も業務の一部と考えています。 『住み続けられるまちづくり』の一環となればと考えております。
掲載した画像	発泡スチロールリサイクル処理作業



団体区分	企業
団体名	株式会社マップ
所在地	東京都板橋区
カテゴリ	自然・エネルギー
出展タイトル	大型緑のカーテン
出展内容の紹介	板橋区で独自の栽培方法を用いた「大型緑のカーテン」を手掛けております。 板橋区役所本庁舎や小中学校などで採用いただいております、暑熱対策をはじめ食育・都市緑化・教材・節電など様々に利用されております。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	4・11・13
出展者の SDGs に対する考え方	株式会社マップは、2003年に板橋区内の小学校で独自の栽培方法を用いて、屋上まで壁面を覆う「大型の緑のカーテン」を育成することに成功しました。これをきっかけに、現在では都内を中心に100か所以上で緑のカーテンを手掛けてきました。 今後も緑のカーテンを通じて、少しでも SDGsに貢献できるよう企業として勤めていきます。
掲載した画像	板橋区役所本庁舎 緑のカーテン



団体区分	企業
団体名	東京ガス東京東支店
所在地	東京都荒川区
カテゴリ	エネルギー
出展タイトル	東京ガスの環境エネルギー
出展内容の紹介	東京ガスが取り組むサステナビリティについて紹介
掲載したホームページ	有
掲載した動画	①東京ガスのSDGs取り組み②都市ガスが家に届くまで③ガスのはじまりの歴史④もしもに備えるエネファーム
SDGs 該当アイコン	7・9・11・12・13・17
出展者の SDGs に対する考え方	「一人も残さない」をキーワードに取り組んでいます。
掲載した画像	SDGs の目標達成に向けて板橋区と連携しています



団体区分	行政
団体名	板橋区環境政策課 自然環境保全係
所在地	東京都板橋区
カテゴリ	自然
出展タイトル	板橋区の自然を知ろう！守ろう！
出展内容の紹介	板橋区の河川の生き物を動画で紹介しました。ハクビシンについてクイズを行い、外来生物についての知識を深めてもらいました。また、湧水の保全のため、雨水貯留タンクの助成制度をPRしました。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	平成 25 年度河川生物調査結果
SDGs 該当アイコン	6・14・15
出展者の SDGs に対する考え方	区の自然環境の実態を踏まえた生物多様性の保全を推進し、人と生きものが共生できるまちをめざしています。 崖線の緑や湧水、荒川の豊かな自然、石神井川等の中小河川など、板橋の緑や水環境を保全します。 雨水が地下に浸透するよう、雨水浸透設備や雨水貯留設備についての補助制度を行い、湧水保全のための取り組みを進めます。 区内の自然とふれあう機会を増やし、多くの区民の方々が板橋区の自然に対する関心を高めて自然の恵みを実感できるようにします。 これらの取り組みを通してSDGsの目標達成に寄与していきたいと考えています。
掲載した画像	ハクビシン

①ハクビシン(外来種)



団体区分	行政
団体名	板橋区環境政策課 脱炭素社会推進係
所在地	東京都板橋区
カテゴリ	エネルギー
出展タイトル	環境関連支援制度等のご案内
出展内容の紹介	無料でできる板橋エコアクションや省エネルギー診断など省エネ支援制度をご紹介します。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	「無料」東京都省エネルギー診断のススメ
SDGs 該当アイコン	7・13
出展者の SDGs に対する考え方	近年、地球温暖化による異常気象や自然災害の発生など気候変動の影響が表れており、今後ますます大きくなることが科学的に示されています。板橋区環境政策課では、二酸化炭素の人為的な排出と吸収量をバランスさせ、実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ(脱炭素社会)」実現のために、区民や事業者の皆さまと共に、地球温暖化防止に配慮した取り組みを実践していきます。
掲載した画像	各イベントで省エネ支援事業の紹介を行っています



団体区分	行政
団体名	板橋区みどりと公園課
所在地	東京都板橋区
カテゴリ	自然
出展タイトル	板橋区の森と緑化助成の紹介
出展内容の紹介	板橋区は友好都市である栃木県日光市から分収造林を譲渡していただき、「板橋区の森」として管理しています。本ブースでは、板橋区の森での森林ボランティアの活動や、民間施設への緑化助成の紹介を行っています。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	11・15
出展者の SDGs に対する考え方	板橋区みどりと公園課ではSDGsに関連する様々な事業を行っています。 例えば、緑化推進事業として民間施設への緑化（接道部、屋上部、壁面）に対する助成や、友好都市である日光市から譲渡していただいた「板橋区の森」の維持管理事業、身近な緑を知る一環として緑のガイドツアーなどを実施しています。 身近な住環境への緑を増やすことは、地域の魅力や居住環境の向上に寄与するとともに、防災・減災、地球温暖化進行の抑制など、多様な効果をもたらします。
掲載した画像	板橋区の森(全景)



団体区分	行政
団体名	板橋区立エコポリスセンター
所在地	東京都板橋区
カテゴリ	自然・エネルギー・3R(リデュース・リユース・リサイクル)・食
出展タイトル	板橋の環境教育ならエコポリにお任せ！
出展内容の紹介	エコポリスセンターは 1995(平成 7)年に全国に先駆けて設立された環境学習施設です。建物もエコロジカルに機能！子どもから大人まで幅広い世代を対象に環境に関する様々なイベントや講座、出前授業を実施しています。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	①エコポリってどんなところ？②チラシ de かみふうせん ③シロツメクサで花冠を作ろう♡
SDGs 該当アイコン	4・6・7・11・12・13・14・15・17
出展者の SDGs に対する考え方	当館は、自然・資源循環・エネルギーの分野など SDGsに関連した授業や講座やイベントを、年代やニーズに合わせて展開しています(延べ参加者 5 万人以上)。様々な世代向けにメニューを用意した講師派遣事業や、緑のカーテン事業(育成講習会、コンテストなど)、環境活動に主体的に参加できる道筋を提供する「板橋エコみらい塾」など、体験的な学びの機会を創出するだけでなく、リユース工作展示や区民団体の成果展示なども充実させています。また、区内で活動する個人・団体の方々が自発的に環境活動に参加できる機会も設けています。
掲載した画像	エコポリスセンター外観



団体区分	行政
団体名	東京二十三区清掃一部事務組合 板橋清掃工場
所在地	東京都板橋区
カテゴリ	自然・3R(リデュース・リユース・リサイクル)
出展タイトル	板橋清掃工場
出展内容の紹介	東京二十三区のごみ処理についての紹介。工場では、ごみ焼却時に発生する熱エネルギーを有効利用し、近隣の区施設等へ熱供給を行っています。また、壁面緑化等で周囲環境との調和と地球温暖化抑制に努めています。
掲載したホームページ	有
掲載した動画	無
SDGs 該当アイコン	4・5・7・8・13・15
出展者の SDGs に対する考え方	環境に配慮し、女性でも活躍の場を設けるなど、積極的に取り組んでいる。
掲載した画像	【ジェンダー平等】左上:車両管制室 右:クレーン運転手室

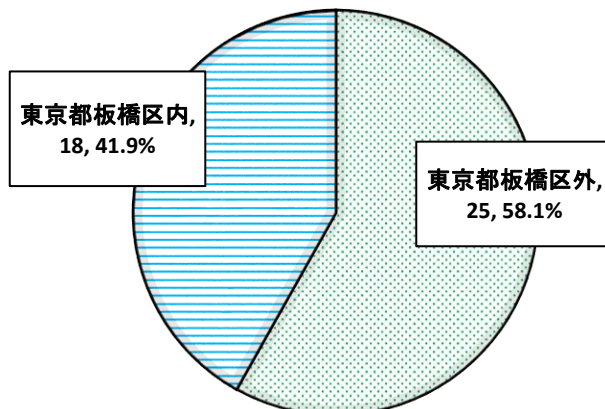


(2) 閲覧者アンケート集計結果

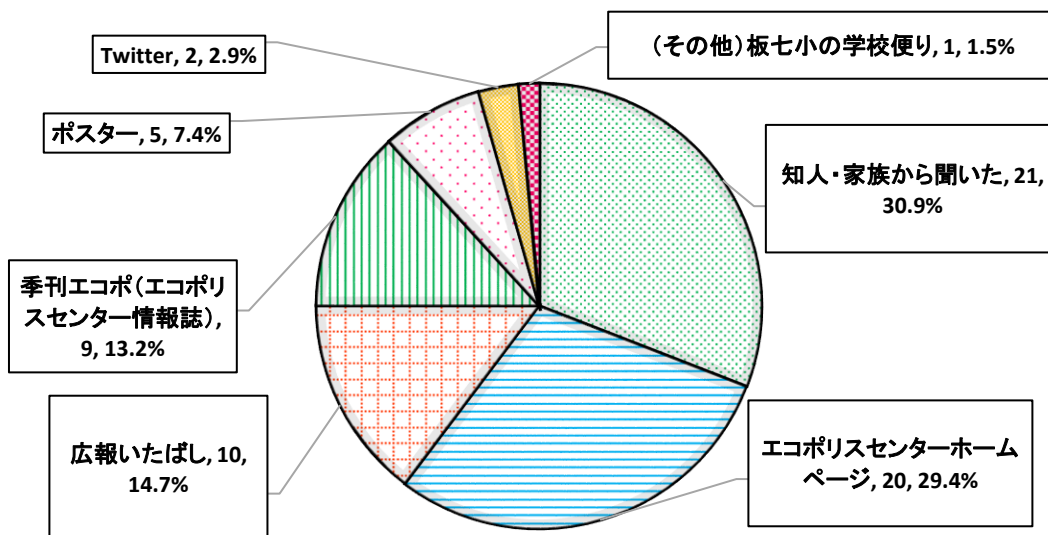
回収数	43
-----	----

凡例：回答,回答数,割合の順に記載

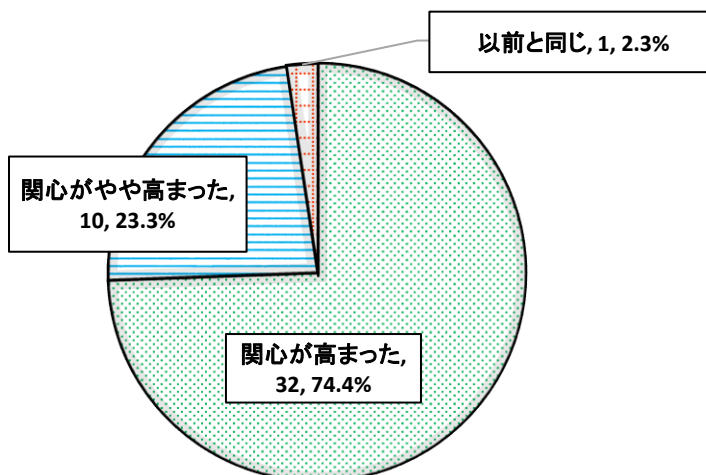
●お住まいはどちらですか？



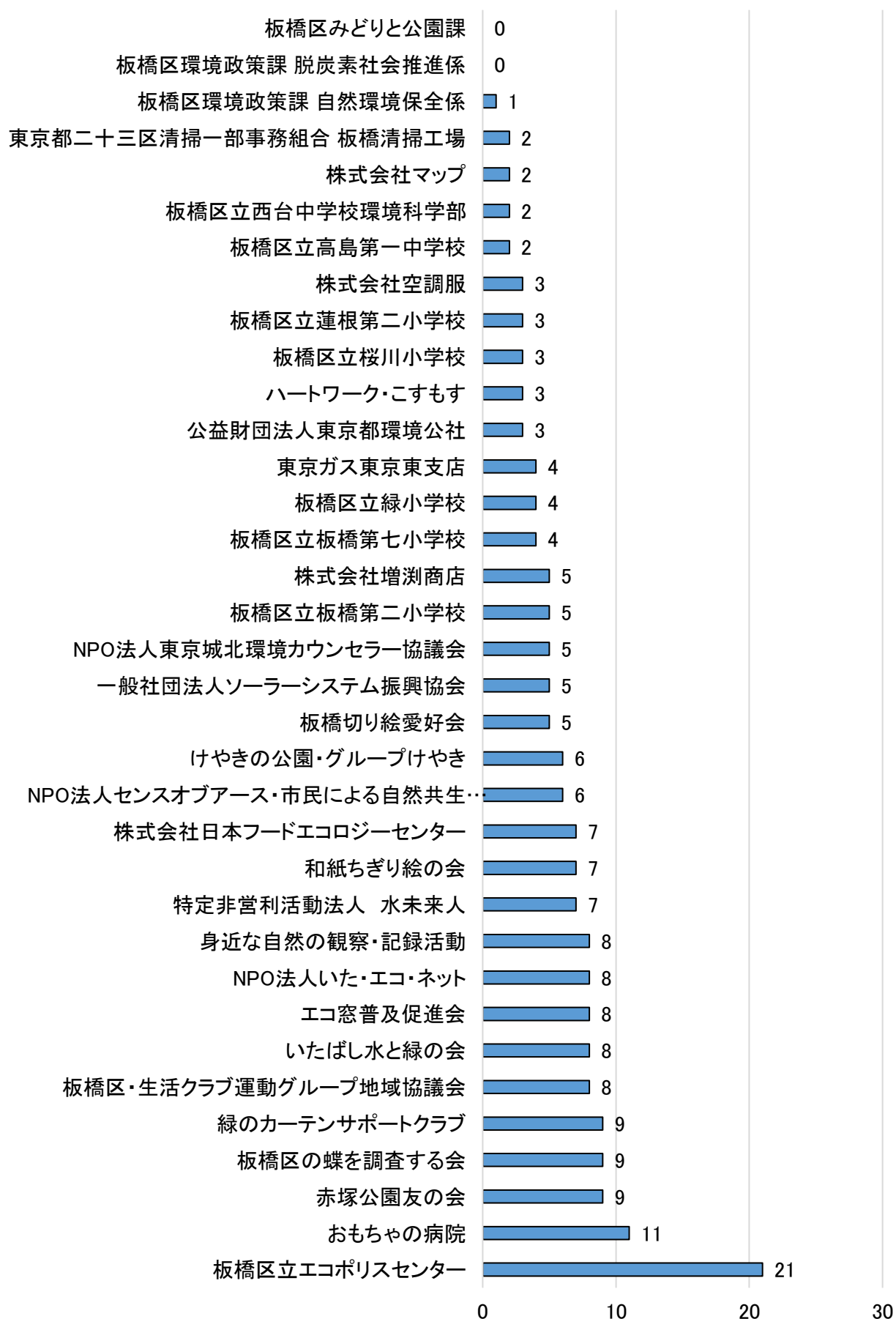
●イベントをどのように知りましたか？（複数回答可）



●環境についての関心に変化はありましたか



●印象に残った団体を選んでください(複数回答可)。



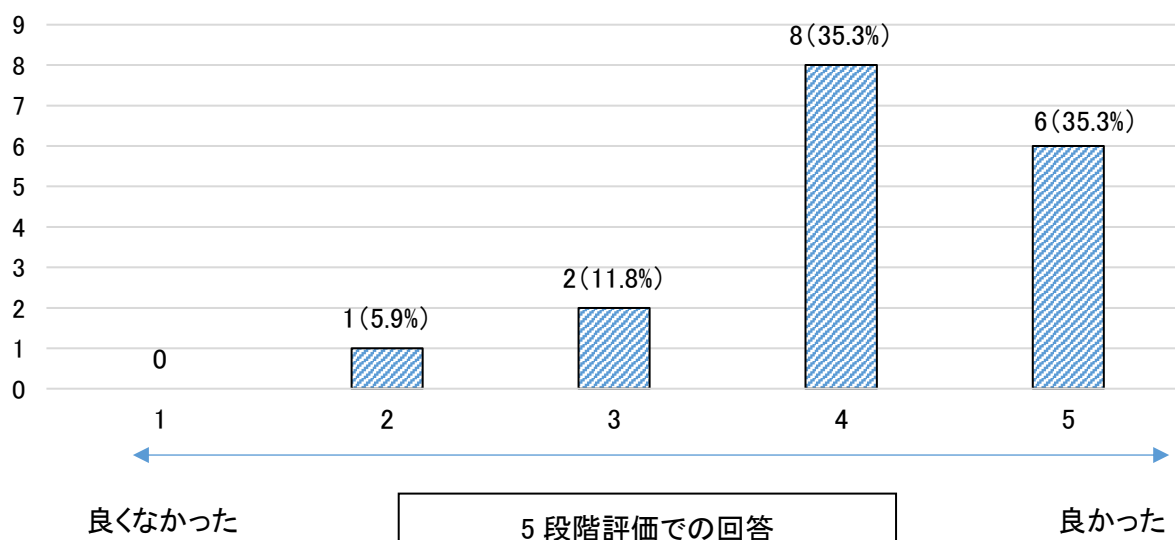
- WEB 版第 20 回環境なんでも見本市について、ご意見・ご感想があればご自由にお書きください(自由記述)。

ご意見・ご感想
・WEB で開催される環境のイベントではエコプロよりも身近でとてもよいものにできていると思う。企画から公開までのプロセスやノウハウを知りたいと思った。
・WEB 版環境なんでも見本市、初めての試みで準備等々大変だったと思います。参加する側としたら、いつでもどこでも手軽に見ることが出来て、とても良い企画だと思います！
・コロナ禍、パソコンやスマホで色々見る事が出来る企画はとても良かったです。多くの方に自宅などで家族一緒に観てもらえる事にとても意義があると思います。 コロナ禍での web 開催ありがとうございます。様々な活動を知り、意識、気付きに繋がりました。
・コロナ禍の中しっかりと作り上げていて、とても面白かった。WEB の良いところは好きな時にじっくり見れることだけど、やはりスタッフ(人)とのコミュニケーションが必要だなと感じました。小学校の環境教育の充実ぶりがとても素晴らしく感じました。
・好きな時間に、じっくり活動の紹介をみる事が出来てよかったと思います。出展団体の皆さんの活動を知ることができたことだけでなく、切り絵やちぎり絵といった作品の展示もコロナ禍で外出して展示会などにも行けないため、WEB で素敵な作品が見れて良かったです。
・これからも続けてください。
・入り口からの動画でのコトの出来が素晴らしい😊👍
・動画がある団体はわかりやすくてよい。クイズがあるので楽しい。
・増淵商店さんの動画がよかった。
・素晴らしい取り組みです。
・クイズの答え方が最初分からなかった。番号ではなくその行どこでもOKが良いと思う。
・楽しい、繰り返し拝聴、拝見ができる、1 回ですべて見ることはできなかった。後でじっくり見てみたい。
・各団体をじっくり見られて良かったです。
・みなさん、いろいろ工夫していてよかった。
・コロナ禍でもウェブでの情報発信ができて良かったですね。

(3) 出展者アンケート集計結果

回収数	17
-----	----

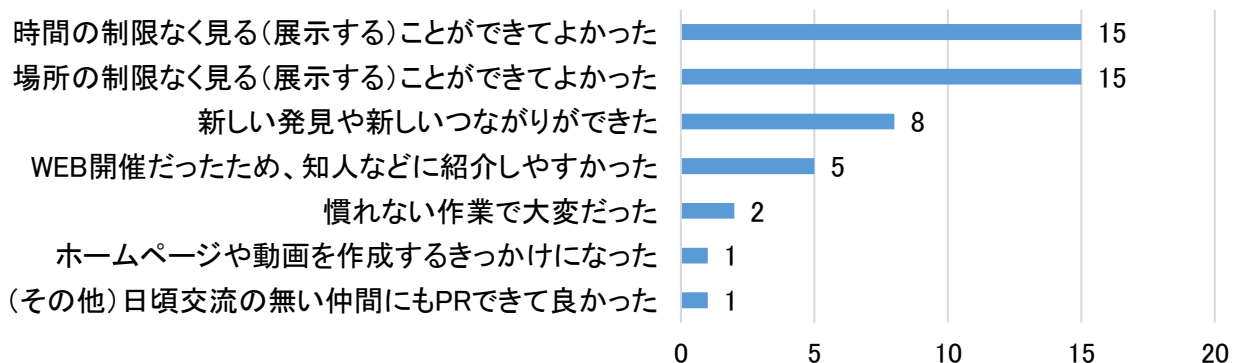
Q1. 今回初のWEB開催となりましたが、出展してみていかがでしたか？



Q1. 5段階評価での回答	上記 Q1 をお答えいただくにあたって、何か理由がございましたらご記入ください。
5	・例年であれば弊社工場をご見学いただき食品ロスの現場を実際に見ていただくことができるが、現在はコロナ禍によりそうした対応が難しい。今回の出展で弊社をご存じない方だけでなく、おいでになれない方に弊社の取り組みを知っていただくことができたのではないかと考えている。
5	・動画なども表示してくださったので、そちらを見てもらう良い機会になりました。
5	・出展内容を作成するときも、他の展示品を見るときも、自分の都合の良い時間で対応することができて、とても良かったと思う。
5	・課題はたくさんあると思いますが、新たなカタチで展示が出来たことや、初めてのチャレンジをエコポリスセンターの皆さんをはじめ、実行委員の皆さんや出展団体の皆さんと一緒に参加できたことに意義があると感じました。
5	・コロナウイルスが流行する中、各活動の発表の場として良いアイデアだと思いました
4	・直接来場者の方と話す機会がないのは仕方がないが、いつでも、どこからでもアクセスできるメリットはある。
4	・大変良かった。100%までは無理があるが大変に勉強なった。
4	・出展準備の短縮
4	・今年度、WEBでの開催だったこともあり、担当でない職員も他の学校の取組などに目を向ける機会となった。
4	・原稿を作る際に、どのくらい文章をいれるのか、どういった形でまとめればいいのかで少し迷いました。(他の団体のものを見たりできなかったのも) 例年とは違うので仕方ないことではありますが…。
4	・データのみで準備でき、掲示物などの準備時間が短縮できた
4	・「身近な自然の観察・記録活動」と「赤塚公園友の会」の2団体・グループで参加し、実行委員にも加わりました。出展内容が web 上でどのように反映され、パソコン

	でどのように見えるのかが皆目見当つかなかったので、今回は自分のことは①メッセージと写真5点の最低限の出展に限って、あとは②事務局スタッフの手伝いに力を入れようと思って参加しました。結果、①については写真をベースにして簡単なビデオぐらいは作らないとアピール力が薄れることがわかり、②については全く役立たずだったので申し訳ないと思っています
3	・質問が来ていたので興味あつてご覧いただけたと思います。
3	・現在の状況ですので実地でのイベント実施の機会がなく、貴重な出展機会となりました。一方で、やはり実地でのイベントに比べてしまうと影響力としては小さくなってしまったと感じました。
2	・掲載のスペースが限られてしまうのと、見せるためのテクニックを自分が持っていない。

Q2.WEB出展にあたり、以下のうちあてはまるもの全てにチェックをお願いいたします（複数選択可）。



Q3.WEB 出展にあたり、気づいたことや感想などがあればご記入ください。

- ・WEB 出展のイメージが分からず、文章の多い画像(レポート)にしてしまったので、来年度 WEB 出展する際には見る人がもっと分かりやすい内容になるように工夫しようと思いました。
- ・いつでも見られるのは、いいと思いました。学校だよりでもお知らせできました。
- ・カメラ機能なしでの参加でしたので何高自分だけ違うように感じました。
- ・パネル展では、パネルの数が制限され、情報量が限られているが、ホームページにリンクを貼ったり、動画をアップすることで、情報量を増やすことができた。
- ・わたしが関わっている活動は現場で人とコミュニケーションをとりながら行わないと話にならないことなので、web でのコミュニケーションは無縁だと思っていました。しかし、対面式の開催ではパネル展示は来場者にはほとんど見てもらえず、ワークショップのみに関心が集中していたのに対して、web 開催では(どのくらいの人がアクセスしてくれたのかは別として)アクセスしてくれた人たちは出展ページを見なければならぬわけだから、利点もあると感じました。
- ・閲覧の時間的制約や作成の手間、全体的な拘束時間は通常の出展よりはるかに少ないと思われる、気軽に参加できるのが大きなメリット。他方で双方向性はどうしても失われるので、補足説明が必要なような「尖った」展示は行いづらいかもしいない。
- ・画像についての説明文をもう少し長く表示した方が良かったと思いました。(説明が足りなかったように思いました。)

・今年度はまずは出展することが大事だと思いますが、来年度も同じような方法にするのであれば、やはり集客(閲覧数)が課題だと思います。来年度は集客方法をもっと工夫するとよいかもしれません。
・自分のペースでゆっくり閲覧出来てよかったです。
・出展に際して、お手数をお掛けしてしまい申し訳なかった。出展に間に合ってよかった。
・出展者であるため、出展があることを知っていましたが、他から情報に触れるということはありませんでした。出展者に周知依頼をしてもよかったのではないかと思います。(公式ツイートのリツイート依頼など)
・出展者も多くいろんな団体の特徴が見れて参考になった。ただし PC は目が疲れる。
・与えられたフォーマットの中でどのような情報を提供するかを判断するのに時間がかかった

Q4.他の出展団体ページを見て、新たな気づきや感想などがあればご記入ください。
・地元で根差した活動を多く拝見することができ、とても勉強になった。中でも印象に残ったのは板橋第二小学校様の取り組みで、小学生のころからビオトープに触れるのは得難い経験になるのではないと思う。
・対面式の開催では、出来るだけ他の出展団体の展示を見て回るように心がけていましたが、それも「素通り」してきたような気がします。今回は、しっかり見ました。環境なんでも見本市はもともと「たくさんの区民のみなさまに、区内で活動または事業展開する環境関係のたくさんの団体・事業者のことを知ってもらいたい」という目的で開催されてきたと思うのですが、参加団体自体が他の団体の出展にほとんど無関心だった対面型開催に対して、web 開催方式は否が応でも他を見ないわけにはいかないので、よい側面が発揮されたと思います。(web 開催でも自分のところの出展内容しか見ていない人たちは「社会活動」をやっているとは言えない。)
ただし、ビデオの出展では長すぎるものが目立ちました。テレビのコマーシャルは3分ほどですが、これ以上長くなると、身内の活動者以外には誰も観ないのではないのでしょうか。ビデオはいずれも秀作で、作成者の涙ぐましい努力には敬服しましたが、見る側の立場に立って自分たちがどのようにみられているのかに思いを巡らせながら発表しないと、活動も独りよがりなものになってしまうと、これは自分自身にもよく言い聞かせなければならない自戒の反省点です。
・助成のある団体とそうでない団体を比較しながら見ていた。
・写真や、動画など使用し、丁寧に作りこんでいる出展者が多く見られた。今後のホームページ作りなどの参考にしていきたい。
・写真だけでなくパワーポイントなどの画像で情報の提供をしている団体もあり参考になった
・環境・自然をテーマにした出展団体や活動が多く、展示より WEB で見た方が写真や内容などがまとまって見やすかったです。
・学校によって取り組み方も様々で、似たような取組に挑戦できそうだなということに気付き、今後の取組の幅が広がったように感じた。
・みなさんの工夫がみられて、良かったです。
・ページを見ている年齢層に合ったわかりやすい説明が多く、気づきや自社ページの改善の必要性を感じました。
・5 枚程度の写真でも様々な団体の取組みのようすが分かって、とても参考になりました。

(4)エコアクション 9

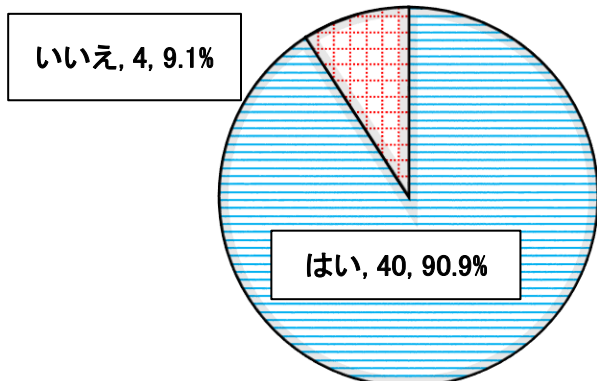
エコポリスセンターでは、地球温暖化防止への取り組みの契機となるよう、環境にやさしい 9 つの行動「エコアクション 9」(平成 31 年 4 月改定)をイベント等で紹介し、その実施状況を調査している。今回のWEB版環境なんでも見本市の閲覧者にもエコアクション 9 の啓発を行った。

WEB 版環境なんでも見本市閲覧者 エコアクション 9 集計結果(回答数,割合)

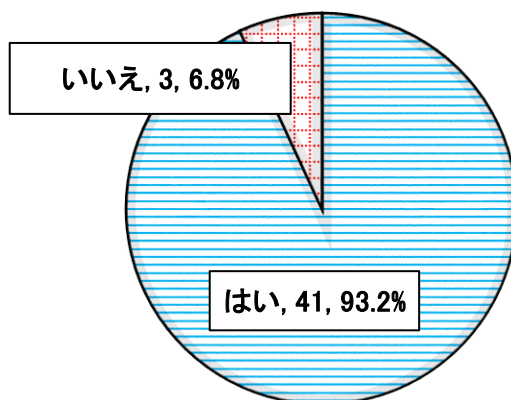
エコアクション 9 回答数	44
---------------	----

凡例: 回答,回答数,割合の順に記載

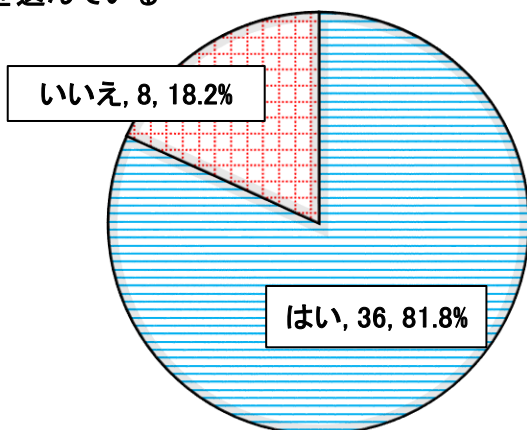
①冷暖房は適切に使っている (室内温度目安: 夏28℃、冬20℃)



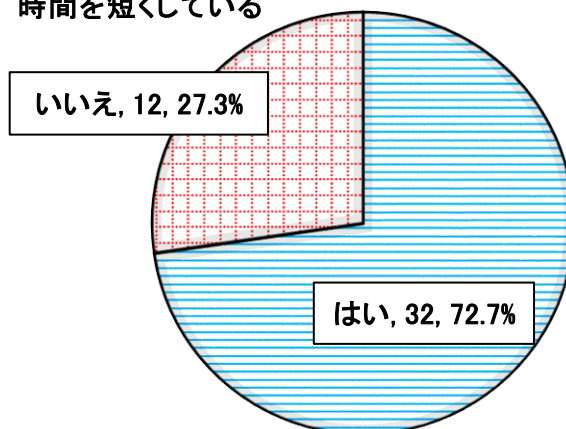
②テレビを見ていないときは消している



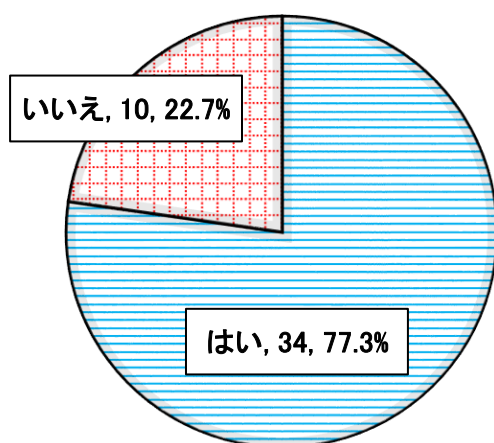
③照明はこまめに消し、買い替え時にはLEDランプを選んでいる



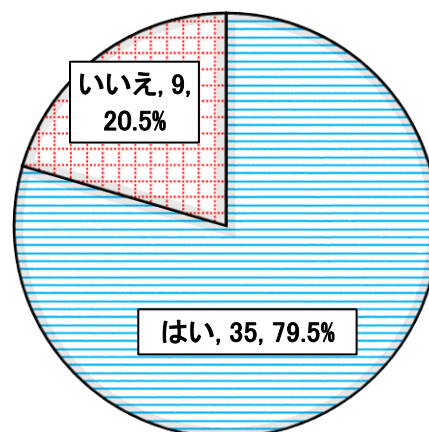
④冷蔵庫の温度は適切に設定し、開けている時間を短くしている



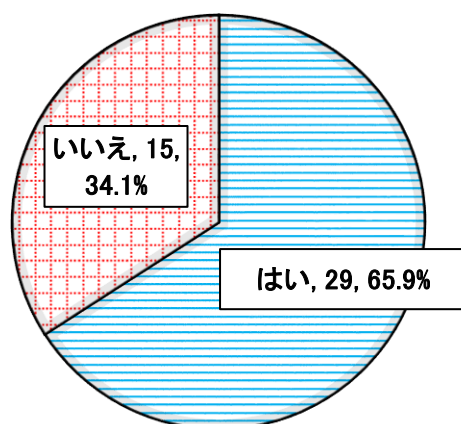
⑤調理の火力をこまめに調節している



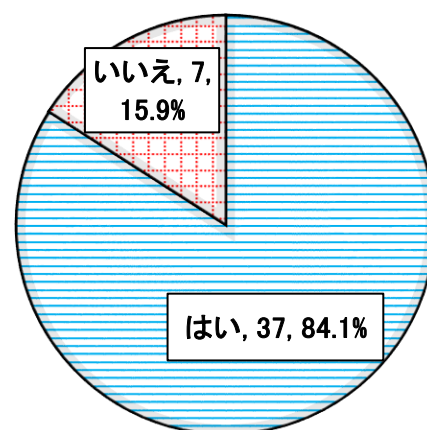
⑥シャワーのお湯はこまめに止めている



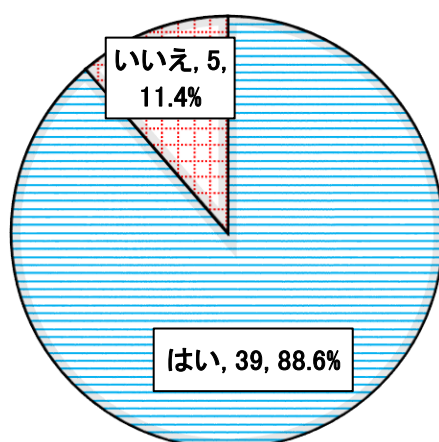
⑦お風呂はできるだけ間をあけずに入浴している



⑧できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動し、車を運転するときは燃費の良い運転を心がけている



⑨マイボトル・エコバッグを使っている



3. 見本市実行委員会について

(1) 見本市実行委員会とは

エコポリスセンターで行っている環境なんでも見本市の企画・運営を、広く登録環境団体(エコポリスセンターに登録していただいている区民団体)や企業などとともに協働するための会である。過去の環境なんでも見本市出展者へ呼びかけをし、立候補制で実行委員になっていただいた。

(2) 見本市実行委員構成

NPO 法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア、NPO 法人いた・エコ・ネット、身近な自然の観察・記録活動、おもちゃの病院、東京ガス東京東支店、エコ窓普及促進会

各団体から 1 名 計 6 名

(3) 見本市実行委員会開催日時

回	日時	実行委員 参加者数	事務局※ 参加者数
第 1 回	2020 年 9 月 3 日(木) 15:30～16:30	3	4
第 2 回	10 月 7 日(水) 10:00～11:05	6	6
第 3 回	11 月 17 日(水) 15:00～16:45	3	6
第 4 回	2021 年 1 月 13 日(水) 15:00～16:00	4	5
第 5 回	3 月 17 日(火) 14:00～16:00	4	6

※事務局の構成

板橋区役所環境政策課環境教育係 1 名

エコポリスセンター 5 名

(4) 実行委員の感想

●オンライン開催ということで、遠方であるなど、これまでの形で参加しづらかった方々がその様子の一端に触れていただけたのではと感じている。次年度以降も継続する際には、イベントとしての盛り上げ方や来場者が活動を知った後のつながりをどう生み出すかなど、さまざまな仕掛けも加えていきたい。

●事務局の努力は大変なものだったと思う。この年齢になって WEB でのコミュニケーションをやることがあるとは思ってもみなかったが、昨今の事情など考えるとやっていかなければと思う。現場での小さなコミュニティと WEB を通じてのコミュニティの両方があった方が良い気がする。館内で行っていた際は、自身のブースを運営するのが精一杯だったが、WEB 開催は他の団体をしっかりと見ることができた。来年もこの形式で続けるとよい。地域の活動を作っていく施設として、積極的にや

っていつてほしい！

若い担い手を探すのはエコポリはじめ様々なところの課題。やりたいけれど、何をすればよいかわからないという人が多いかもしれないので、募集や運用の仕組みが出来ると活性化するのではないかな。

●普段は体験などがメインのイベントだったが、YouTube 等のコンテンツを使用できたのは自社としても良かった。出展者に対する評価がもっとわかるようなものだとより良いと思う。ここを見た後、どこを見たのかなどわかるとよい。

●他の地域の人たちにも WEB 開催があるということをはがきで知らせることができ、遠くの人にも見てもらうことができたのは良かった。今回のように不特定多数の方が見られるようなものは続けていった方がよい。

●初めての試みなので、目標達成の点からの評価が難しく、数値的評価は立てられなかったと思う。今回参加できたことは良かった。閲覧数に対してアンケートの回答率が芳しくなかった感があるので、アンケート(貴重な意見)が活きるように、もっと回収していきたい。

2 週間という長い期間開催できていたので、学校の社会勉強に使ってもらったりしてもらえたらよいと思う。出展者のアンケートをもっと回収できれば次回の参考になると思う。

【参考】

実行委員の募集:2020 年 8 月 10 日(月)~8 月 31 日(月)

出展者募集:2020 年 10 月 23 日(金) ~11 月 13 日(金)

閲覧およびアンケート受付時間:2021 年 2 月 1 日(月)10:00~14 日(日)17:00

参 考 資 料

・ポスターA3

おうちで見よう! WEB版

第20回

環境

なんでも見本市

2月1日(月)~14日(日)まで

パソコン・スマホからエコポリスセンターHPにアクセス!

今回のテーマは「板橋区の環境活動を知る／^{エスディーズ}SDGs、わたしたちができること」

WEB上で様々な環境活動を開覧していただくことにより、私たち自らの暮らし方を見直し、私たち自ら何ができるのか考えていただくイベントです。この機会に、地球にやさしい生活について再確認してみませんか。



出展団体の紹介

環境活動に取り組む様々な団体の活動・成果を紹介します。法人・市民団体 17、小中学校 7、企業 6、行政 5 (出展予定: 計 35 団体)



環境クイズ

出展団体の紹介ページにクイズがあります。出展団体の活動内容をクイズを通してわかりやすく紹介します♪



区内小中学校の成果の紹介

子ども環境大使に任命された学校による成果を紹介します。



開催期間

令和3年2月1日(月) 10:00 ~ 14日(日) 17:00まで
詳しくは、エコポリスセンター公式HPの「WEB版第20回 環境なんでも見本市」をご覧ください。

QRコードはこちら! →



主催: 板橋区 / 企画・運営・協力: 見本市実行委員会

問合せ: 板橋区立エコポリスセンター (☎ 03-5970-5001)

WEB 版 第 20 回環境なんでも見本市 実施報告書

発行：令和 3 年 3 月

主催：板橋区

企画・運営：見本市実行委員会

板橋区立エコポリスセンター（指定管理：板橋エコみらいプロジェクト）

TEL：03-5970-5001 FAX：03-5970-2255

〒174-0063 板橋区前野町 4-6-1
